

書名：「日本古記」

価格：1,600円+税

出版社：東京図書出版

著者：坂本洋二



日本国が成立した700年頃までを古代の歴史対象として、日本国がどのように誕生して、国際的に認知されたかの歴史を調べて、纏めてみました。

- 邪馬台国は岡山、狗奴国は奈良と推定し、卑弥呼の墓と居所を推理
- 魏志倭人伝の国の記述順序に「新説：循環説」を採用し、邪馬台国を発見
- 神武天皇は「倭国大乱」を利用し西暦181年に即位したと、科学的に推理
- 雄略天皇が中国皇帝に報告した衆夷66国、毛人55国を特定
- 神武天皇から雄略天皇までの即位年と退位年を統計学的に推理
- 神武天皇から雄略天皇までのヤマト王権の国域を推移図として表示
- 古代人口推定から崇神天皇の時代に邪馬台国と狗奴国の人気が逆転したこと証明
- 神武天皇の東征の軍団員数、船団艘数、戦闘状況を古代人口推定から推理
- 神武天皇の東征の上陸地点や奈良までのルートを推定して地図表示
- 日本国が成立と、国際的認知のために行った国家事業を選定し解説